

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:みらいずジュニア横手

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			安全面に配慮した机や椅子の設置をしている。限られたスペースの中でも、用具や教材が強い弱いような収納環境を工夫している。
	2 職員の配置数は適切であるか	60%	40%		一人の負担が重なりすぎないように声をかけ(かけ合い)、できることは分担するなど協力合している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0%			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	20%		
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			月2回の事業所研修やオンライン研修も行いながら知識・スキルの向上を行っている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			月1チームメンバーでミーティングを実施している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60%	40%		チームを作成し、飽きが来ないように、支援目的を明確にしたプログラムの作成を心がけている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			活動内容によって、個別・小集団・大集団のグループに分けている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			必ずミーティングを行い児童との関わり方や役割分担の確認を行っている。 個人(障がいの特性)について学んだり、不明点、気づいた事などは他の職員に相談や情報共有したりして、寄り添いながらも少しでもプラスになる関わりができるよう心がけている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			当日振り返りが難しい場合は翌日振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
関係機関 や保護者 との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			個別支援計画書見直し時期に必ず全スタッフでモニタリングを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%		
関係機関 や保護者 との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	60%	20%		学校と直接やりとりが出来ない場合は保護者様に情報を頂いている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児の受け入れはしていない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	20%	40%	40%	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100.0%			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所外の児童との関わりはしないようにしている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%	20%	40%	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			子供の様子を伝えながら、家庭での様子などについても聞き、お互いの情報交換と共有に努めている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			ペアレント・トレーニングを数回行い好評だったため、再開したい。
保護者 への説明 責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に説明している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			面談時に家庭での話も伺うようにしている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		40%	60%	
非常時 等の対応	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		40%	60%	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	40%	60%		
	35 個人情報に十分注意しているか	100%			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		20%	80%	
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			マニュアル作成はしているが、保護者への公開は出来ない。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
非常時 等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	40%		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	40%		契約時に保護者には説明をしている。やむを得ず行わなければならない児童に関しては、事前に保護者へ説明・同意を得ている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		60%	40%	共有はしているが、事例集の作成は出来ない。